

2022 春季生活闘争・妥結情報

2022. 6. 6 — 第 14 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2022 年春季生活闘争 第 6 回回答集計結果について

連合本部は、2022 年春季生活闘争につき、5 月 31 日（火）午前 10 時時点で取りまとめた回答集計について、次のとおり発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した 5,081 組合中 4,356 組合が妥結済み（85.7%）。うち賃金改善分獲得が明らかな組合は 1,831 組合（42.0%）で、割合は 2014 闘争（43.0%）に次いで高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した 4,331 組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で 6,049 円・2.09%（昨年同時期比 816 円増・0.30 ポイント増）、うち 300 人未満の中小組合 3,078 組合は 4,857 円・1.97%（同 526 円増・0.23 ポイント増）となった。賃上げ分が明確に分かる 2,073 組合の「賃上げ分」は 1,862 円・0.63%、うち中小組合 1,259 組合は 1,771 円・0.72%となり、前回集計の水準を上回るとともに、すべての規模区分で昨年同時期比プラスになっている。中小組合は額・率とも第 6 回回答集計時点では、賃上げ分の集計を開始した 2015 闘争以降で最も高く、中小組合の健闘ぶりを示している。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給 23.75 円（同 2.51 円増）・月給 3,989 円（同 229 円減）である。引上げ率は概算でそれぞれ 2.32%・1.85%となり、時給は一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。

連合北海道が 5 月 31 日（火）午後 5 時時点で取りまとめた回答集計は、以下の通り。

- エントリー 203 組合 164 組合（昨年同時期比 22 組合増）が妥結した。そのうち集計可能組合は 147 組合となり、昨年の同時期より 20 組合増加した。
- 集計可能組合の 147 組合 42,734 人における回答妥結額（加重平均）は、5,271 円（定昇・ベア込み）、妥結率は 2.00%となった。

【組合規模別賃上げ状況 2022年5月31日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	*昨年実績額 (定昇・ベア込み)	*昨年比
～99 人	62	2,609 人	4,140 円(1.83%)	3,316 円(1.52%)	824 円(0.31%)
100～299 人	54	9,085 人	4,763 円(2.11%)	3,864 円(1.61%)	899 円(0.50%)
300 人未満計	116	11,694 人	4,610 円(2.05%)	3,726 円(1.59%)	884 円(0.46%)
300～999 人	24	11,518 人	4,406 円(1.76%)	4,048 円(1.56%)	358 円(0.20%)
1,000 人～	7	19,522 人	6,047 円(2.08%)	6,708 円(2.32%)	-661 円(-0.24%)
300 人以上計	31	31,040 人	5,508 円(1.98%)	5,826 円(2.08%)	-318 円(-0.10%)
計	147	42,734 人	5,271 円(2.00%)	5,244 円(1.95%)	27 円(0.05%)

一時金は、加重平均における年間金額が1,325,761円（31組合）、年間月数は4.47ヵ月（46組合）となった。集計組合数が少ないため単純には比較できないものの、昨年同時期と比べて14,180円減少した。

有期・短時間・契約などで働く労働者（非正規）の賃金に関しては、加重平均における時間給で 16 組合 24.42 円（昨年同時期比 11 組合 18.99 円）引き上げとなり、昨年同時期より 5.43 円増となった。なお、加重平均時給は 1,000.42 円と 1,000 円を超えている。

月給では 4 組合が妥結し、加重平均で 3,227.7 円の引き上げとなり、昨年同時期より 83.9 円増となった。